



秋田をこくる建設人

Vol.12

施工管理(建築)

村木 繁さん(40代)
(株)田中建設[鹿角市]
キャリア28年



大工さんが輝く瞬間と
お客さんのよろこぶ顔
それが見たくと
家づくりをしています

住宅建設の現場管理として働く村木繁さん。幼少の頃に見た上棟式、活気ある現場の雰囲気とそこで働く大工たちの姿がキャリアの原点だ。かつて憧れた家づくりの光景の中で、今では職人たちから楽しそうに声をかけられている。真面目な人柄と仕事ぶりに、職人たちからも厚い信頼を寄せられていることがよくわかる。



仕事の「やりがい」は？

出来上がった住宅が形として残ることはもちろんですが、私の場合、大工さんや職人さんと一緒に住宅づくりができること自体がやりがいになっています。若いころは、家が建てる過程や現場が楽しくて仕事をしていましたが、今はどちらかというと皆のサポート役として裏方に徹することで建物が出来上がっていくのが嬉しいですね。完成してお客さんに感謝されることも嬉しいですし。この業界に入って28年になりますが、住宅建設は奥が深いと感じますし、それも魅力のひとつです。

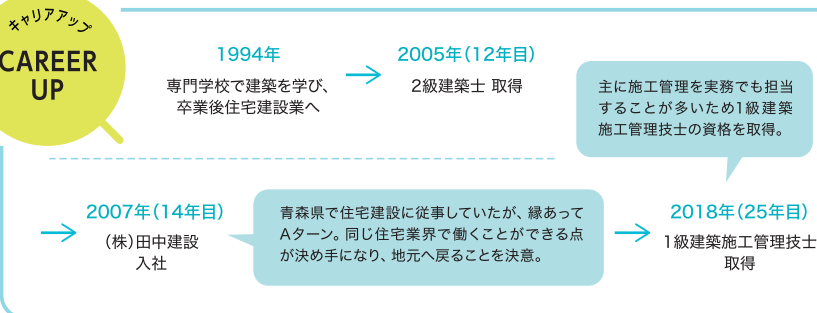
仕事で大切にしていることは？

現場の安全確認、日々の点検などの確認作業が一番大切だと思うようになりました。逆に現場がうまく回っている時ほど、何かを見落とししているのではないかと不安になります。そして、ビジネスパートナーである大工さんや職人の方がやりやすいように気を配ることも大切にしていますね。住宅づくりは表から見えない部分が重要。お客さんにとって人生最大の買い物だからこそ、見えていない部分には手を抜けない、自分がしっかりと現場で目を配らないといけない、そう思って仕事をしています。

家づくりの魅力は？

お客さんの要望に沿って、職人の技でひとつひとつ作りあげるのが、家づくりの最大の魅力ではないかと思います。最近では、在来工法と違って組み立て型の施工も多くなってきましたが、当社は最初から最後まで職人さんの手で作る住宅にこだわっています。「理想の家づくり」があるとして、たとえ100軒建てても自分には答えが出せない気がしていますね。だからこそ、そこに近づけていく努力をしていくのが自分の仕事なのかなと思っています。

CAREER UP



ココロに残っているプロジェクト



住宅建設
(2018年/北秋田市)

隣接する北秋田市での住宅建設。現場管理だけでなく、普段の案件よりお客さんとコミュニケーションを取る機会が増えたこともあって、完成時にお客さんから直接感謝されたことが印象に残っている。

村木 繁さんのもうひとつの物語

地元で家族と過ごす時間が「癒し」

秋田に A ターンして 15 年の村木さん。この間、結婚して子供が生まれ3児の父となり、生活は大きく変わったという。近年はコロナ禍で家族そろって外出する機会は減ったというが、天気が良い休日には十和田湖までドライブに出かけたりもするそうだ。インタビューの最後、花輪ばやしのポスターを前にして「やっぱり祭りはいいですね。子供たちにも見せたいです」と、高校卒業とともに一度は離れた地元・鹿角への愛着をのぞかせた。

